

2023年度 県民せいきょう岡保きらめき 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生協の基本理念である「あなたらしさいつまでも」に基づく「10の基本ケア指針」を揚げ、利用者のできることをやりたいことを知ろうとすることを積み重ねながら、職員一人ひとりが意識し利用者との信頼関係作りを行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防策を徹底し地元住民と一緒にやっている畑作業やこども園児との野菜の収穫や地域の奉仕活動、祭りなど日常的に交流をしている。また地域サロンにも参加している。	認知症サポーター養成講座やサロンへの参加などで日常的な交流がある。畑活動を通して日常のつながりがある。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月別利用状況、活動状況、ヒヤリ介護事故、利用者や家族の声を報告した上で参加者より率直な意見を頂きサービス向上や運営に活かしている。	互いに情報交換できる貴重な時間になっている。事故の内容に対して意見したり、利用状況を把握出来るいい機会である。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスを提供する中でわからないことがあれば、福井市地域包括ケア推進課や大東包括に相談し指示やアドバイスを受け運営に活かしている。	広報誌を毎月公民館に配布したり、SNSを通してご意見を頂いたりしている。研修や講演会に参加したり、相互の連携も継続出来ている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回の委員会や研修会、勉強会の開催で身体拘束の意味を理解し現状の確認や意識の共有をし抑制しないケアに取り組んでいる。不適切ケアについても学び抑制しない威圧しないケアを実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関の施錠はされていない。誰でも行き来できる拘束のない環境である。身体拘束に関して行わない事の同意書が家族用にあって、拘束を禁止している事が家族にも分かる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会や研修、勉強会に参加し啓発している。普段のミーティングで意見交換を行い対応方法を考え共有する事で虐待行為を予防している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の中で起きている虐待のケース等も運営推進会議で共有、相談している。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者(兼計画作成者)は学ぶ機会があり理解しているが、新人介護職員の理解が弱く学ぶ機会の確保が継続課題である。現在、成年後見人制度を活用されている利用者が1名おられる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結、解約また改定等の際には、ご本人やご家族に分かりやすいチラシを提示して事前見学やサービス内容の説明をしている。不明点や疑問点には適宜対応し納得された上で契約を締結している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の声は普段の会話や「お茶の時間」での話し合いで集め、ご家族の声は電話や面会時、担当者会議、「利用者満足度アンケート」で集め法人の入カシステムに入力し福祉事業部(本部)でも共有し運営の反映改善につなげている。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	SNSの投稿やいこっさ新聞などの広報誌の配布などで、施設内の様子を外部が見れる為、意見があれば運営推進会議で共有している。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のミーティングや月1回の職場会議、年1回の方針検討会議で職員の意見を集めている。また、法人のアイデア提案制度を活用し普段から提案できる環境を整えている。事業所でできる提案は即日実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年3回個人面談を行い、個人目標達成状況の確認、意見交換を行っている。また法人主催で労働条件説明会を実施し、職員の意見を聞き反映できる所は反映する仕組みがある。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	きらめきに入ると皆が明るく笑顔に挨拶していて、イキイキと働ける職場だと感じる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	動画研修や他事業所での実習、社協や介護福祉士会、認知症高齢者医療介護教育センターの研修を、各自の立場や経験に応じた学びの機会を確保している。法人で推進している新人研修3年目5年目研修、10の基本ケア研修に参加し実技も含め育成に努めている。		A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員を育てるだけでなく、地域や家族に向けた勉強会も実施しておられ、認知症に対する理解や関わり方等を見つめ直すきっかけ作りになっている。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	県のグループホーム連絡協議会に参加し交流を深めて、日頃の現場での悩み解消や他事業所の取組みを知ることでサービスの質の向上に繋がっています。法人内では毎月4事業所で部門会議を行いサービス向上のための意見交換を行っている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「いつも始まりは本人の声から」をコンセプトに介護される側の関係性ではなく人として本人と対話を繰り返し一緒に考えて望む暮らしを実現している。本人と関わる中で本人を知ろうとする事を積み重ね想いをカタチにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ感染予防対策を徹底し対面での面会を実施している。年賀状のやりとりや本人の思い出の地への外出、法事など行事の出席、自宅へ帰る、馴染みの美容室に行くなどしている。	現場でのケア内容はあまり分からない為、本人の馴染みの場所や関係支援が来ているか不明だが、地域との交流や支援は来ている。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の「お茶の時間」で利用者に今日は何する？と声かけし、思いや意向を活動に繋げている。言葉にできない想いをカタチにする為に、家族や関係者などで本人の立場に立って話し合いをしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会やカンファレンス、担当者会議の際に本人の意向を聞き取り、家族や主治医、訪問看護との話し合いする機会を持ち計画を作成している。本人や家族の変化に応じて臨機応変に見直しをしている。毎月評価し3か月ごとのモニタリングを実施している。	定期的に会議を開催して、検討されている事が現状に即した介護計画の作成に繋がっていると思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な開催の中で、ご家族やご利用者の想いを丁寧に聞き取る時間とし、今後のケアに意見を反映できるよう、担当者会議の後に更にスタッフ間で話し合いを開催している。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人と一緒に過ごす中で見えてきたことや気づき、言動や思い、変化を毎日記録し、職員間の情報共有やケアに活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	こまかな状態変化や気づきを記録に出来ている。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	医療連携体制を活かして利用者や家族にとって負担となる受診や入院の回避、早期退院の支援、医療処置を受けながらの生活の継続、重度化した場合の入院の回避といった利用者ニーズに応えるため柔軟な支援を臨機応変に展開している。	ご本人の意向をお聞きし、その都度必要に応じて随時対応できるように努めている。ご本人の思いを汲んだケアとなるようケア内容を検討し実践している。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	地域の美容室による訪問や移動マーケット、訪問診療や訪問看護、地域の有志による畑作業や、消防訓練など地域の力を借りて利用者の安全で豊かな暮らしの継続を支援している。	地域住民との交流や、自分達も地域住民の一員であると自覚し、社会参加に努めている。外部交流を今後も増やしていきたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	利用者、家族の意向に合わせて、なじみのかかりつけ医に受診され、訪問診療、訪問歯科診療による受診もされている。必要に応じて書面や電話にてかかりつけ医に情報提供を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	日頃から主治医と連携をとっており、入院された際には病院に情報提供し退院前には病院ご家族計画作成者でカンファレンスを行いスムーズな利用再開に努め、早期退院の柔軟な支援も行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	主治医との連携が密であり、互いに意見交換しながら、ご利用者にとってよりよい選択となるよう支援に努めている。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	連携医療と本人・家族と話し合いを重ね、今後の生活について話し合う場が定期的に設けられている。状態の変化があった際は都度話し合いが出来る。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	担当者会議の際に、ご本人とご家族に終末期の考え、要望の聞きとりを行っており、都度変化のある意見に対し柔軟な対応が出来ている。	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	急変時や事故発生時のマニュアルを確認し対応についての勉強会や実際の事故発生時全てのスタッフが指導のもと初期対応を経験し実践力を身につけている。消防署の緊急時の対応を必須研修と位置づけ全てのスタッフが参加する仕組みになっている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の防災訓練を実施。緊急連絡表に自治会長の連絡先も入れていただき防火訓練に地域住民も参加いただく等地域との協力体制が築けている。昼夜問わず避難が行えるよう改善を図っている。	職員人数やご利用者情報などの共有は難しく、把握できていない為、運営推進会議でこまめに共有しているといい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間帯の緊急時対応に困難が多く、課題を運営推進会議で協議し、事前に協力体制が夜間帯でも組めると良い。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	声かけは基本敬語で行いタメ口やちゃんづけはしないことを守っている。羞恥心やプライドに十分配慮し利用者がきぼうあれば同性介助を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	学習会や研修をこまめに実施し、丁寧な関わりが出来ている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日「お茶の時間」に一日何をするかを利用者と一緒に考えて実現している。一人一人のペースに合わせて支援している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食材の買い出しやおかず作り、盛り付けなど利用者と一緒に行っている。利用者の声から外食やテイクアウト、出前で食事をする事もしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合った献立を利用者と一緒を考えたり一緒に作って楽しんでいる姿がSNSで伝わる。今後も写真掲載を楽しみにしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人の栄養士が栄養バランスを考えた食事を提供している。食事の摂取量や水分摂取量を記録し必要に応じて主治医や訪問看護と連携し必要な対応を行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアの声かけを行い、不十分な所は介助し清潔保持に努めている。訪問歯科の指導を受けその人に合った適切な口腔ケアを実施している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科往診や指導など、ただ口腔ケアをするだけでなく、個別に課題を感じている方の専門的な支援が出来ている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「10の基本ケア」に基づきオムツをしない生活がふつうの生活であると理解しオムツをしない生活を目指している。紙オムツの使用を減らし可能な限りトイレで排泄する事に取り組んでいる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	10の基本ケアの具体的なケア内容を共有する機械がもう少しあると良い。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の生活習慣に合わせた時間帯に入浴ができる。無理強いすることなくリラックスした気分で入浴できるよう工夫している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時の体調に合わせてまた本人のペースに合わせて休息や睡眠がとれるよう配慮している。消灯時間などは設けていない。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬情報をカルテに保管し職員間で用法用量副作用を共有理解している。服薬マニュアルに沿って支援し飲み忘れや誤薬を防いでいる。服薬調整の際には、経過観察を行いその都度家族や主治医、訪看と連携している。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	服薬事故の報告ではなく、マニュアルに準じた対応が来ている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や趣味などの情報を活用して楽しみを増やしやりがいを感じる事ができる取り組みを行っている。カラオケが好きな利用者が地域の方と混じってカラオケの会を展開したり、事業ネットワークのおしごとで組合員のお役立ちの一端を担ったりしている。	BLG 研修・活動(B(Barriers)、L(Life)、G(Gathering)の略称で、東京町田のデイサービスの名称)が始まり、喜びや楽しみが増えていくのではないかと。地域との交流でカラオケなどの趣味の場も今後も沢山増えていくと良い。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者で「お茶の時間」に話し合いをし、こども園のモップがけやお出かけ、外食、買い物、法事や墓参りなど本人の思いに沿って出かけられるように支援している。	本人に思いに沿った活動や外出をしている。家族との関わりも途絶える事がないよう、スタッフの関わりも大切だと思う。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に家族から預かった金銭は金庫で保管管理している。外出や買い物の際には本人が支払えるように支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	国外の家族との Zoom 面会や電話や手紙のやり取りができるようにプライバシーに配慮しながら支援している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた馴染みの家具や飾り、写真などを持ち込んだりしてその人に合った生活環境になるようにしている。季節の花や掛け軸、絵を飾るなど家庭に近い雰囲気を感じてもらえるように工夫している。ソファを所々置きゆったりと過ごせる空間をつくっている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	雰囲気明るく、それぞれが好きなようにレイアウトしたり、自由に歩き回って自分のいたい場所を決める事が出来ている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の発言に対するケア改善は日々のミーティングで検討されている。また声だけでなく表情や行動から推測し職員だけで決めず本人と一緒に考えて決める事に留意している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前の自宅での生活を継続できるよう支援し、家族など周囲から聞き取りを実施しながら本人らしい生活に繋げている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族、主治医、訪看などと細かな状態変化を共有している。本人と関係者全体で協議し、日々の状況に沿った支援となるよう迅速な対応を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ヒヤリハットや介護事故に対する対策を検討し、細かな像大変化を話し合っケア改善している。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から今までの生活習慣を聞き取り、普段の生活に取り入れている日常の関りの中で利用者の声を大切にし一人ひとりに合ったケアを行っていく。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真や、アルバム、使い慣れた化粧台、家具など置いたり個々の要望に合わせて持ち込みができている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由な生活空間に出来ている。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「お茶の時間」を通して本人のやりたいことや希望を聞き実現している。	本人のやりたい事を聞きだし実現していると思う。 祭事に関しても、地域も含めて話し合いながら進めていきたい。		

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「先回りしない」「待つ」を実践し本人の持つ力や主体性を引き出すケアや仕組み作りを考えて展開している。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や好きなことをアセスメントし、その上で活動に参加したり、希望に沿った活動ができるように一緒に考えて話し合っている		A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	活動場面が多くあり、楽しそうな様子がSNSを見て感じられる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事やきらめきでの行事に参加しているが、本人の主体的な交流に繋がっている機会は少なく、対話を大切にして生まれた声から交流の場や活動が増えるよう改善していく。	ご利用者本人が自ら地域との交流を積極的に行っている様子は感じられないが、スタッフが一緒に取り組む形を継続しながら交流を継続出来ると良い。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部交流が徐々に増えてはいるが、地域の人との関わりが薄くなっている。本人主体の活動を増やしていくための話し合いや対話を継続していきたい	本人にとっても家族にとっても丁寧な関わりを継続されていて、安心して日々を送る事が出来る場所だと思う。	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外部交流の場を拡大させながら、本人主体の活動が更に増えていくと良い。